


和学鍛

朝明中学校通信
令和6年1月9日号


3学期 大切な仲間とともに ～調和と協調～



少し長めの冬休みが終わり、学校には元気な朝明っ子の笑顔が戻ってきました。年未年始はどのように過ごしましたか。大切な人に、一年の感謝を言葉で伝えることはできましたか。新年を迎え「今年は…」と決意を胸にしたのではないのでしょうか。新年にはそんな不思議な力がありますね。

いよいよ1年の締めくくりの3学期です。これまで9か月間、ともに過ごした学級の仲間、そして、3年生にとっては、約3年間をともに過ごした朝明中の仲間との最後の時間です。

さて、「仲間」には、「共通の目標に向かい、ともにすすむ集団」という意味があります。例えば、中学校を卒業すると、高校や大学・専門学校、仕事に就けば会社や営業所など、何らかの新しい集団に入っていきます。その集団(組織)は、おおむね共通項を持つ人の集まりです。これは、皆さんが所属する学校以外の集団(スポーツクラブ、塾、趣味の会、地域行事など)にも当てはまりますね。つまり、共通の目標・目的を持った人が自分で選んで所属する集団…といったところ。したがって、この集団は、総じて仲間と協調しやすいものです。(大人の皆さんからは、「そんなにうまくいく集団ばかりやないでえ～」という声も聞こえてきそうですが…)

それに比べると、公立中学校は、世の中的には特殊なのかもしれません。特に朝明中のような中規模以上の学校では、出身小学校も違う、部活動も趣味も違う、様々な得意不得意をもつ生徒がごちゃ混ぜになって過ごす、社会の中では珍しい集団です。同じなのは、年齢だけ。当然、個人の目標や嗜好、価値観もバラバラであるため、時にはケンカしたり、意見の衝突があったり、なかなかひとつにまとまらなかったりします。発生しなくてもいい問題が発生し、そのたびに解決を迫られる。学校に行くのが億劫になったり、人と交流することが面倒になったりするかもしれません。過去の学校生活で「そうそう!」と思い出すこともあるでしょう。

公立中学校は、今後の人生ではあまり経験できないような多様な集団なのです。だからこそ、ここで学ぶ3年間には大きな価値があります。これからの人生で必ず求められる「問題解決能力」は、どれだけの問題を解決したか、その経験の積み重ねこそが財産となりますから。(公立中学校が問題だらけと言っているわけではありません、誤解なさいませぬよう)



4月には、どの学級も学級目標を立てましたね。たまたま出会った三十数名が〇年〇組という看板のもと、ともに成長するために熟慮を重ね、ひとつの目標を掲げたはず。今一度、後ろに掲示された目標を振り返ってみましょう。残りの3か月で目指す姿にたどり着けるよう、思考を巡らせましょう。大切な仲間とともに。

ちなみに、私(校長)が、今年度当初に掲げた朝明中の「めざす生徒の姿」は、以下のとおりです。

自分と仲間を大切に作る生徒～調和と協調～

- ・主体的に考え判断し、自律的に行動することで自分を鍛えていこう
- ・自分や仲間のありのままを受け止め、互いを尊重しよう
- ・しなやかな感性を身につけ、持続可能な社会の創り手となろう



いろいろな仲間がいるからこそ、調和(バランス)を学び、一人では成しえない協調(ハーモニー)が生まれる。公立中学校ならではの醍醐味です。3学期も頑張りましょう!朝明っ子!

令和の時代に求められる学校の姿



先月実施した学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。
約7割の保護者様からご回答をいただきました。結果と総括については、
コミュニティスクール運営協議会を経て、2月頃お知らせする予定です。

さて、このアンケートのなかで、ある保護者様より「学校の様子がわからない」とのお声をいただきました。
本年度は、学校公開週間や授業参観など、子どもたちの姿をご覧いただける場を数多く設けました。また、学校ホームページをほぼ毎日更新し、校内外のようすを発信しています。しかしながら、学校が普段何を目指し、
どんなことをしているのかは、なかなか見えにくいものですよ。

そこで、(この通信が保護者の皆様に届いていると信じて)令和の朝明中の姿を少しずつ紹介していきます。



子どもの観察やいじめ調査にアプリを活用

朝明中では、毎朝、心と体の健康観察に「シャボテン」というアプリを活用しています。このアプリのアンケート機能を活用し、本年度から、いじめ調査をデジタル化しました。紙アンケートの頃は、担任一人が時間をかけて内容を確認していましたが、本システムでは、アンケート結果を即時全職員で把握できるため、その日のうちに、気になる生徒への対応やご家庭への連絡を行うことができます。また、同じアプリから、市のいじめ相談窓口へ直接相談することも可能になっています。



いまのからだのぐあい？



ICTを活用し、心の小さなSOSを見逃さない取り組みは、令和ならではの学校の姿です。



校内ふれあい教室「ステップルーム」

何らかの事情で、登校はできるけれど教室には入りにくい生徒のため、市内の半数ほどの中学校に、校内ふれあい教室が設置されています。朝明中ではステップルームと名づけ、現在、十数名の生徒が入級しています。
ステップルームには専任の先生がおり、個々の状況に合わせて学習をすすめています。このほか、オンラインで教室とつながる生徒もいます。

不登校の生徒が学びたいと思った時に学べる環境を整えることも、令和の学校に求められる姿です。



保護者の皆様へ ～本年もどうぞよろしく申し上げます～

まずは、令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により、犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げますとともに、被災された皆様ならびにそのご家族、関係者の皆様に対してお見舞い申し上げます。被災された皆様の安全と一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

本市においても、今回の地震は、お子様にとっては、あまり経験のない大きな揺れだったと思われます。災害に関して、お子様の様子やご家庭での心配事などがありましたら、遠慮なく学校までご相談ください。

また、有事の際の行動について、今一度ご家族皆様で確認くださいますようお願いいたします。学校においても、危険箇所の点検や避難経路の確認など、改めて徹底してまいります。

本年度も、残り3か月となりました。引き続き、ご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

日々の学校の様すは、ホームページでご覧いただけます



四日市市立朝明中学校

